

【PMoA 開催レポート】

PMoA セミナー

1. 開催概要

- ・日時
2023 年 12 月 3 日
- ・会場
第一部（セミナー）：起雲閣、第 2 部（展覧会ツアー）：熱海魚市場など、第 3 部：ネットワーキング（カフェ&レストランナギサ）
- ・参加者数
47 人
- ・当日メンバー（企画・運営：斉藤、寺野下、中西 サポート：高橋、佐野、関根、工藤事務局 寺田、豊田）

2. 企画から実施までのこと

- ・企画のきっかけ
PMI 日本支部はプロジェクトマネジメントに関する国際的な啓発・普及団体である PMI (Project Management Institute) の地域組織として日本国内におけるプロジェクトマネジメントの啓発・普及活動を長年行っており、今年創立 25 周年を迎えました。また近年では、産業界におけるプロジェクトマネジメントのみならず、教育機関・非営利団体支援、地域創生、SDGs 等その活動領域を拡大しております。
25 周年の記念に当たり、更にプロジェクトマネジメントの活動領域を広げるため新たな領域としてアート分野を選び、その可能性を探るため外部のアーティスト団体とプロジェクトマネジメントとアートで双方にメリットが得られるイベントの企画実行を行うこととしました。
- ・企画のコンセプト
アート・音楽などの文化芸術活動はプロジェクト活動の三要素である「独自性」「有期性」「不確実性」の特性を多く備えていると考えております。そして PMoA (Project Management of Arts) では同分野におけるプロジェクトマネジメントの活用可能性の調査研究活動の促進目指します。
- ・コラボレーション等 「PROJECT ATAMI」とのコラボレーション
PMoA 実践者としての講演の協力と第 2 部の実際のアーティストが制作したアートの展覧会「ATAMI ART GRANT」展覧会ツアーで作品の紹介ガイドの協力を頂きました。
- ・工夫した点

メンバーが一同に集まるのが難しく、また PMIJ 外のアート関係の団体と綿密な連携を取る必要があり、slack、メッセージャー、zoom などのコミュニケーションツールを目的に合わせて使い分けながら準備を進めました。また、内部での調整と外部団体との意思決定をスムーズに行うため、事前に内部での打合せを行って PMIJ 側の意識合わせを行ったのち、外部団体との打合せを行ないました。急ぎでメンバーや外部団体との確認が必要な場合は、メッセージャーを使用しダイレクトに確認することで迅速な対応を取ることができました。

- ・ 苦勞した点

登壇者の選定と調整に少し時間が掛かりました。

登壇予定の方にお問い合わせしたところ、当初予定していた会場は差しさわりがあるということで会場の変更を行なう必要があり、また第3部のネットワーキングで花火を見ることがを企画したが、当初考えていた場所では花火が見えないことがわかり、条件にあった場所を探すなど、いくつか当初の計画を見直しながら詳細を詰めていく必要がありましたが早め早めに手を打つことで、大きな問題もなく進めることができました。

3. 当日の様態と実施成果

- ・ 会場について

会場は、熱海の起雲閣の一角にあるホールでブラインドを開けると庭園が見られる歴史を感じられる落ち着いた会場でした。

- ・ 講師について

東方文化支援財団の中野さまからはアート×地域創生のテーマで、アートを活用して熱海の活性化を図るお話を頂き、Project Atami の冠様からはアートプロジェクトの事例を紹介頂き、NTT データの長谷部様からは、アート×デジタルのテーマでバチカン所蔵のアートのデジタル保存と閲覧に関する取り組みについてお話を頂きました。

いずれもアートを取り上げていますが、見ている視点が異なっており、アートの制作プロジェクトの企画準備の苦勞から観光ビジネスまで幅広い内容でどれも非常に興味深いものでした。

- ・ 参加者について

休日に熱海まで来て頂いた方々が、非常に熱心に聞いて頂いたと思いますし、質問も時間が足りなくなるほど活発でした。

受講者目線から見るとアートを軸として異なった切り口からのお話を聞くことができ、色々な気づきがあり、満足度も高かったのではないかと思います。

- ・ 当日の進行について

起雲閣の会場には、早めに午前中から入り準備を行いました。

事前に下見をしていたので、会場のセッティングは比較的スムーズに行ったのではないかと思います。

ただ、会場の入り口が少しわかりづらいと感じたので、急遽誘導のメンバーを配置して案内を行いました。

司会は、寺野下さんが行い Q&A を含めスムーズな進行ができたと思います。

セミナー終了後は、片付けを短時間でを行うためセミナーの参加者にも椅子の片づけを手伝って頂きました。ただ、作業を効率的に行ったつもりでも当初予定した準備と片付け時間に対して少しオーバーしてしまいました。

・当日の学び・参加者コメント

私自身は、今回、地域サービス委員として地元静岡からの参加ということで、最初はプロジェクトのサポートを行うということで協力させて頂きましたが、現代アートや、アートを観光ビジネスと結びつけて地域創生につなげるお話などをお聞きすることで視野が広がったような気がしますし、現代アートにも興味を持つことができました。

直接アーティストのアート作成の支援を行うことは、できるわけではありませんが、メタバースなどの技術を活用し、アートの見せ方やメタ熱海のようなビジネスと一緒に考えてプロジェクトができると面白いと思いました。

4. 今後に向けて

・担当者所感

今回、地元でのイベントということで地域サービス委員の東海・富士コミュニティの代表として2名でサポートメンバーとして参加させて頂きました。齊藤さんの綿密な計画とメンバーの行動力で、イベントは成功の裡に終了できたと思います。私は今回プロジェクトをサポートする立場で、参加させて頂いたのですが、プロジェクトを進める上でアーティストの方の柔軟な発想や取り組み方やアートを観光などのビジネスにつなげていくという話しをお聞きできたのはとても新鮮でした。

・今後も続けていきたいこと

事前の下見と事前のセミナー進行のシミュレーションを行う事で大きな問題なく進めることができたと思います。

セミナー後の交流の場の提供（観覧ツアー、懇親会）を実施することで、PMIJ の会員だけでなく、アーティストなどとの親睦を深めることができたのではないかと思います。

・改善したいこと

起雲閣の入り口からセミナー会場への移動がわかりづらかったので、ルート案内図配布や誘導方法をもう少し考えておけばよかったと思いました。

下見はきちんとしておくことはもちろんですが、準備と片付けの時間は余裕を取っておくべきだと思いました。

・ 今後挑戦したいこと

・ Project Atami のメンバーと PMoA 関連のセミナーやイベントの企画・運営を継続して行くことで連携強化が図れたらと考えています。

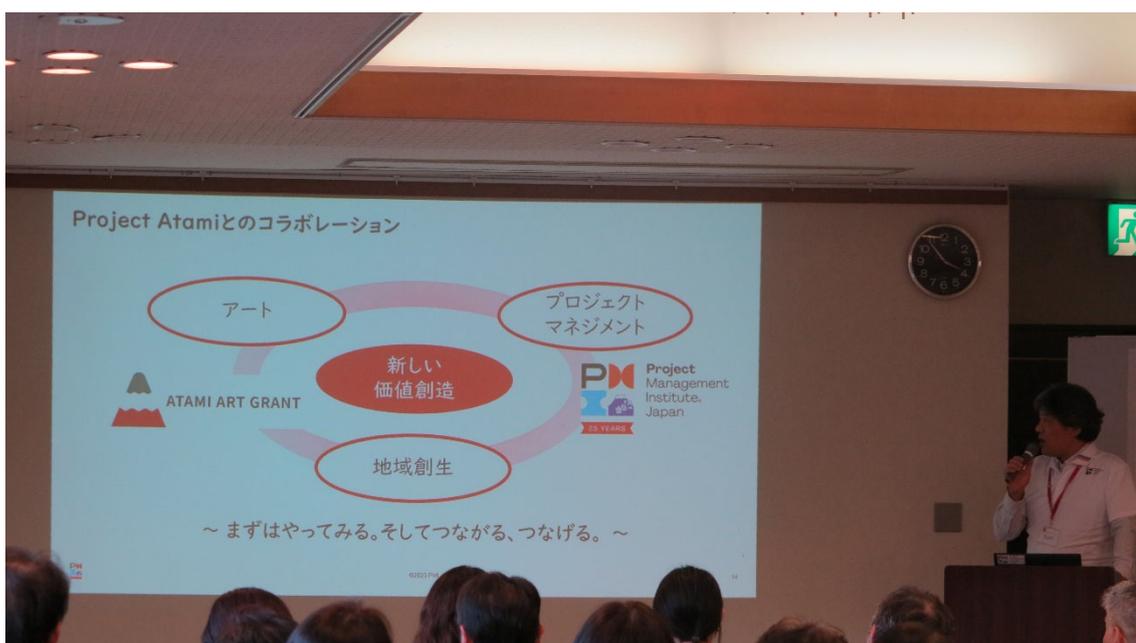
・ アートとプロジェクトマネジメントが WIN-WIN で相乗効果を生み出せるようなコラボレーションの形態を実験的な要素も含め模索できればよいと考えています。

・ 今年度希望しながら参加できなかった東海・富士コミュニティのメンバーがスタッフとして参加できるようなイベントの企画を行いたいと考えています。

<活動写真>







※「ATAMI ART GRANT」とは、

「熱海で起こるアートの渦！！」がコンセプトの芸術祭。熱海の ACAA エリア、駅周辺エリア、銀座町エリア等、熱海全域を会場として開催される地域創生型芸術祭。主催の「PROJECT ATAMI」は、「熱海の魅力をアートにより再発見」することを目的とするプロジェクト。アトリエの提供・制作費の支援を行う滞在型制作プロジェクト「ACAO ART RESIDENCE」と、若手アーティストの制作活動支援に向けた取り組み「ATAMI

ART GRANT」を両輪として活動を行っている。公式ホームページ：
<https://atamiartgrant.com/>

※「起雲閣（熱海市指定有形文化財）」とは、

1919(大正8)年に別荘として築かれ、現在は非公開の岩崎別荘、今はなき住友別荘とならび、「熱海の三大別荘」と賞賛された名邸が基となっています。1947(昭和22年)には、旅館として生まれ変わり、太宰治・山本有三などの多くの文豪たちにも愛されていました。市街地とは思えない緑豊かな庭園。日本家屋の美しさをとどめる本館と離れ、また、日本、中国、欧州などの建築様式と装飾を融合させた独特の雰囲気を持つ洋館です。2000(平成12)年より、熱海市の所有となり、当市の文化と観光の拠点として多くのお客様を迎えています。(熱海市ホームページより)